

令和7年6月26日（木）掲載
神奈川新聞社提供（複製禁止）

海外レポート @インド

インド第二の都市・ムンバイ。商業・金融の中心地で、「ボリウッド」の名で映画産業も有名だ。そのムンバイと日本を結ぶ唯一の直行便を運航する全日本空輸（ANA）と連携し、横浜市は6月、姉妹都市提携60周年記念キャンペーンを実施している。

横浜には明治期から多くのインド商人が進出。関東大震災による一時撤退もあったが、昭和初期には多くの商館が復興し、現在も山下公園に残るインド水塔が、慰霊と震災時の救援への感謝を込めて建てられた。こうした背景の中、両市は1965年6月26日に姉妹都市提携を締結した。



ムンバイ空港での横浜PRの様子（ANAムンバイ空港所提供）

今年提携60周年を迎える姉妹都市はムンバイのほかマニラ（フィリピン）、オデーサ（ウクライナ）、バンクーバー（カナダ）の計4都市ある。今月30日からは4都市の写真展を市庁舎で開催するので、ぜひ足を運んでほしい。

ムンバイは5月に記録的な豪雨に見舞われた。経済交流、文化交流の歴史に加え、気候変動などの都市課題に連帯して立ち向かうことが求められている。当事務所としても、共にアジアに新たなグリーン社会を実現するための努力を積み重ねていきたい。
（横浜市アジア事務所長・三上裕）